



デイケア通信 ~3月号~

サントピアみのかも 平成22年 3月 発行

春らしい暖かな日が射しこむようになり、桜の花がチラホラ咲き始めましたね。皆様いかがお過ごしでしょうか。

✿ デイケアでの様子 ✿



1月から取り掛かり始めたウールアートもようやく完成間近になりました。3本にまとめた毛糸に結び目を作る方・結び目の間をハサミで切る方・台紙に貼る方とできることを分担して、皆さんで作りました。

少しメタボなトラとなってしまいましたが、できあがりはずまずだとスタッフは思っています。

完成した作品はデイケア内にて展示してありますので、機会がありましたら見てください。

中庭のプランターにて育てたブロッコリーと芽キャベツです。なかなか手入れができずほったらかしでしたが、野生の力で収穫できるまでになりました。

ある日なにげなくプランターをみるとブロッコリーの葉っぱが、なにかに食べられていました。青虫でもいるのかと葉っぱの裏を見てもいなく、謎??でした。犯人はなんと“ひよどり”でした。無農薬なので美味しかったようです。



ブロッコリーはマヨネーズであえてサラダに芽キャベツは味噌和えにして、お昼に皆さんに食べていただきました。柔らかくておいしいと好評でした。

☆ 4月の行事予定

日にち 4月21日 水曜日

内容 野点

☆ リハビリ日記 パート10

最終回 「家屋評価&家族指導」



今回は家屋評価&家族指導について、お話したいと思います。

利用者Aさんは足腰が弱く、一人で歩くのは困難なため、ご自宅では奥様に支えてもらいながら歩かれています。しかし背の高いAさんと奥様には身長差があり、一緒に歩いていると時々支えきれずに共に転倒しけがをする事がありました。その後、自宅内に手すりを取り付けた方がよいのではという話になりましたが、ふすまで部屋間を仕切っているため、手すりを取り付けることは困難でした。そこでリハビリとしては、いざっで自宅内を移動する事を提案しました。その結果、トイレや食事などの移動には、すべてに奥様を呼ばなければ移動できなかった事と一緒に転倒してしまうというリスクを解消することができました。

利用者Bさんは能力的には一人で歩き、階段も支える程の介助にて昇降する事は可能な方です。しかし徐々に認知面の低下に伴い、行動に移るまでに時間がかかるようになりました。そのためデイケアの送迎時には車椅子を使用することにしましたが、自宅の玄関には段差がいくつかあり、スロープ設置が必要では？という話になりました。しかしリハビリスタッフから、車椅子での段差越えの介助方法を指導する事で、スロープは不要となりました。

上記のように年齢による身体の衰え、また認知面の低下に伴う注意力の低下や動作困難により、今まで支障なく過ごされてきたご自宅での生活も、介助を要するようになってくることがあります。しかしご自宅の造りや家族構成・金銭面を考慮した上で、自宅改修を行なうことはそう簡単ではありません。そうした時はリハビリスタッフにひと声かけて下さい。ご自宅の状況やご本人の状態を含め、介助方法の仕方や自宅改修時のアドバイスをさせていただきたいと思えます。

昨年4月からの1年間、デイケア通信を通して様々なリハビリ内容を紹介させていただきました。今回にてリハビリ日記の掲載を終わりたいと思えます。

今後も連絡帳からご自宅での様子を教えていただきながら、利用者の方の状態に合わせたプログラム運営に努めたいと思えますので、お気軽にお声をかけていただければと思えます。

☆ お知らせ ☆

サントピアたより号外にてお知らせさせていただきましたが、4月以降サントピアの玄関東側にある建物に引っ越しをする予定です。

新たなスタッフも加わり、気持ちを新たに利用される方・ご家族の方に憩いの場となるよう頑張っていきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひします。

<新職員の紹介>



看護師の
野田かすみ
です



看護師の
小林友美
です